

平成 28 年度 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

平成 28 年 11 月 28 日作成

法人名	有限会社 ラ・ポール おとくにケアサービス	代表者	米田 真澄	法人・ 事業所 の特徴	法人：自分が将来受たいサービスを目指し、利用者と共に歳を重ね、また数年後も職員同士で話題を共有したい。そういう会社を目指している。 事業所：少人数で、穏やかな時間を共有している、利用者、職員、一緒に調理一緒に掃除、毎日が安全に安心した暮らしを支援している
事業所名	ラポールおとくに 長岡京	管理者	半田 圭子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	2人	7	4人	1人	2人	10人	2人	30人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所 自己評価の確認	達成可能な計画を立て、より満足してもらえるように調整をする。	食に興味がある利用者様には外食や季節の食事を一緒に作って満足して頂けた。	利用者様の不快にならない言葉使いを身に付ける。	利用者様の一人ひとりに合った声の大きさを変えて声掛けをする。
B. 事業所の しつらえ・環境	事業所の環境について事業所だけではなく、地域の人たちにも意見がもらえるようにしたほうが、客観的な意見がもらえる。	2か月に一度運営推進会議で、地域の方達にも参加して頂き意見を取り入れて改善している。	① 玄関を開けると寝具が丸見え ② 地域の行事にも参加し利用者さんがこんな人がいると見せて教えて欲しい。	① 寝具丸見えなのは場所的に変更できないのでベツトカバーで様子を見る。 ② 地域の催しに参加する。
C. 事業所と地域の かかわり	事業所は常に開放しているが、まだまだ知られていない。近隣の方が「ちょっと相談に乗ってほしい」と気軽に来てもらえるようにしたい。	入りやすいように玄関の扉は夏の虫が入っても、冬の寒い木枯らしの吹く日でも開けている。二重扉になっているので室内には影響ない	利用者様の送迎時に近隣の方と、挨拶を交わしているか？	歩行での送迎時や散歩・買い物時に近隣、地域の方達と立ち止まって玄関先の花の話等、笑顔でしている。
D. 地域に出向いて 本人の暮らしを 支える取組み	訪問時に近隣の方と挨拶や民生委員さんや利用者宅の隣人と挨拶する。「介護保険」という公的サービスでどこまでサービスするのかという、内部の意見をまず集約する必要がある。	守秘義務もあるので、隣人や地域の方には挨拶や玄関先の花の話題で、止めている。 買い物や公園等散歩に行き残存能力を発揮して頂いている。	一人、ひとりに合わせた取組みはどんなのが取り上げられるか？	季節に応じて春は桜、秋は紅葉を愛でる 夏は暑いので、クーラーの効いたスーパーで1対1の買い物、冬は暖かい日を選んで散歩している。
E. 運営推進会議を 活かした取組み	地域との関わりについて私たち事業所が思っているほど地域の方たちはできているとは思っていない。もっと積極的に地域にでる。	運営推進会議で出た意見は、早急に職員会議を開き真摯に受け止め改善している。	どうしたら良いのかを色々な立場の方々から意見を頂いている。	運営推進会議で、出た意見、又、事業所同士の悩みなど会議を通して話合って解決している。貴重な答えを頂いている。
F. 事業所の 防災・災害対策	防災・災害について事業所内で話し合いをしてはどうか	年2回の消防所と連携して、消防訓練を行っている。又、社内研修でも話題を重ねている。	防災・災害を甘く見ているのでは	推進会議等で他事業所の対策を聞き、取り入れ、又職員会議時に話題を出し合い取り組んでいる。